



ケロちゃんコロちゃん 地方民鉄応援プロジェクト
ケロちゃんコロちゃん
応援ニュース No. 94

平成28年12月22日発行

発行：一般社団法人 日本民営鉄道協会 運輸調整部 地方交通室 地方鉄道課
〒100-8171 東京都千代田区大手町 2-6-1 朝日生命大手町ビル 16 階 Tel. 03-5202-1406 (地方交通室)

〒100-8171 東京都千代田区大手町 2-6-1 朝日生命大手町ビル 16 階 Tel. 03-5202-1406(地方交通室)

元気いっぱいのコロちゃんが、三岐鉄道・北勢線をしपोर्टしちゃうよ♪



桑名駅南側の踏切では3種類の軌間（北勢線 762mm、三岐線 1067mm、近鉄名古屋線 1435mm）に出会えるコロ。

みなさんの健康と幸せを守るコーワのケロちゃん、
コロちゃん(※)だよ。

師走も半ば過ぎ。みなさんお元気ケロ？ 冷え込みが厳しくなってきたから、風邪には注意してほしいケロ。

三岐鉄道の楽しいスポットを探しているふたりは、**鉄道ファン**の「**聖地**」のひとつ、**北勢線**を訪ねたケロ。

どうして「聖地」なのかって？ それは、北勢線の軌間（ゲージ）が、今ではとっても珍しい762mmだから。ナローゲージっていうよ。お隣の三岐線は1067mm。ひとつの鉄道で、ふたつの軌間を体験できるのはラッキー。

かわいらしいミニサイズの電車が走る北勢線。でも、その話題は、ミニじゃなくてビッグだよ！

※「ケロちゃん」「ヨロちゃん」は、興和株の登録商標です。

コロちゃんの北勢線レポート No.1 三岐線と北勢線のルーツは？

(コロちゃん) 突然ですがクイズです。三岐鉄道の「三岐」とは、いったいどういう意味でしょう？

(ケロちゃん)「3つに分かれた」という意味かな？ ひょっとして、その昔には3つの路線があったとか…？

(コロちゃん) ブブー！答えはね、三重県の「三」と岐阜県の「岐」を合わせて「三岐」。明治時代、三岐鉄道・三岐線は、三重県四日市市と、岐阜県関ヶ原町を結ぶ計画だったコロ。

(ケロちゃん) 壮大な計画は、その後どうなったケロ？

(コロちゃん) 昭和に入ると、石灰石がとれる**藤原岳の麓に大きなセメント工場**が建設される話が進んで、三岐線は**四日市方面へセメントを運ぶ貨物輸送を担う**ことになったコロ。そこで、岐阜県までの鉄道建設はとりやめになったんだって。

(ケロちゃん) そうだったの！ それじゃあ、北勢線は？

(コロちゃん) 平成15年4月に、三岐鉄道が、近鉄から経営を引き継いだコロ。民鉄（近鉄）から民鉄（三岐鉄道）に路線が譲られた、わが国では初めてのケースだったそうだよ。

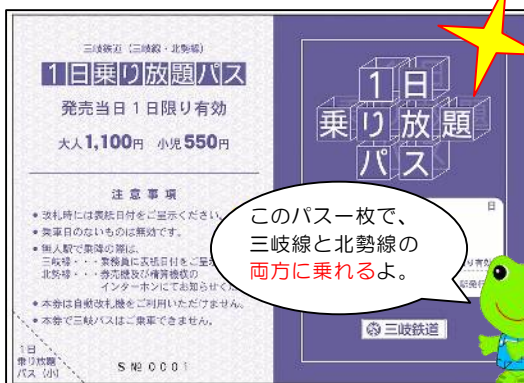
(ケロちゃん) 経営する会社が変わっても、北勢線は利用者のみ
なさんに愛され続けているケロ~(≧▽≦)

(コロちゃん) 1日乗り放題パスを持って、出発進行～コロ！

ちなみに、北勢線の
東員駅と、三岐線の
山城駅は三岐バスで
行き来できるケロ。



北勢線のルーツは明治45年に軽便鉄道として設立された**北勢鉄道**。その後三重交通→近鉄に経営が移管され、平成15年に三岐鉄道の路線になったケロ



このパス一枚で、
三岐線と北勢線の
両方に乗れるよ。

コロちゃんの北勢線レポート No.2 日本でここだけ…走る年金相談所！

三岐鉄道のHPで開催日を確認してね。予約は不要だよ！



毎月1回、もりおか社労士事務所の社会保険労務士さんが相談に応じてくれるケロ。



ねんきん定期便を持って来てね。

(コロちゃん) 北勢線はナローゲージだから、車両の中は思ったより狭くて、前に座る人もすぐ近く。でも、慣れるとアットホームな雰囲気にもンワカ癒されるコロ。

(ケロちゃん) 通勤・通学の若い人だけでなく、お買い物や通院のために利用しているお年寄りも多いケロ。

(コロちゃん) あれっ！電車の中に机があるコロ？パンフレットや電卓を持った男の人が、何か説明しているよ！

(ケロちゃん) 机の横に「年金相談コーナー」って書いてあるケロ！あの珍光景は何ですか？

(隣のお客様) 机の男性は、以前、三岐鉄道に勤めていた人で、今では社会保険労務士のお仕事をしているのよ。電車の中で、年金のことを親切に、わかりやすく説明してくれるの。ケロちゃんたちも相談してみたら？

(コロちゃん) 無料とはびっくり！お願いしちゃうよ！

コロちゃんの北勢線レポート No.3 「うりぼう」はコロちゃんの聖地？



大泉駅前の広々としたパーク＆ライド駐車場



イラストは「ふれあいの駅うりぼう」のHPより転載



ご当地ならではの「軽便煎餅」を見つけたコロ～。

(コロちゃん) レポート頑張りがすぎておなかがすいたコロ～。

(ケロちゃん) 大泉駅に地元農産物の直売所があるんだって。名前は、ふれあいの駅「うりぼう」。そこまでがんばって！

(コロちゃん) 「うりぼう」は大泉駅と一体になっていて、地元でとれた野菜や花、お母さんたちが作った食品、お菓子も売っているコロ。広いパーク＆ライド用の駐車場もあるよ。

(ケロちゃん) 新鮮で、珍しい食品がいっぱい。季節によってフレーバーが変わる、手づくりのジェラートもおもしろそう。

(コロちゃん) 働いている皆さんは「地産地消」を合言葉に、生産・加工・販売の現場で汗を流しているコロ。電車でお買い物にやってくる人も多いから、地域活性化はもちろん、鉄道の利用促進にもつながっているコロ～ (≥ω≤)

(ケロちゃん) 有人駅で、無料の「ぶらり観光マップ」をプレゼントしているよ。マップを持って北勢線を楽しんでね！